

# シラバス (外国語) 科

愛媛県立大洲高等学校

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ	学年	1	類型	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ型
単位数	4	教科書	Blue Marble English CommunicationⅠ	出版社	数研出版		
副教材	Blue MarbleⅠナビゲーションノート、英単語ターゲット1400 (旺文社)						

## 学習の到達目標

(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けることができる。
(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や聞き手の意図を理解したり、これらを伝え合う力を身に付けることができる。
(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を養う。

## 授業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校では、学習の習熟度に応じて習熟度別編成を行い、わかりやすいきめ細かな授業を行います。教科書は統一ですが、習熟に応じた講座編成をし取り扱う活動や指導方法などを工夫します。</li> <li>・授業中は、間違いを恐れず積極的に英語でコミュニケーションを図りましょう。</li> <li>・1年次には英語学習の基礎を養うことができるよう、予習・授業・復習のサイクルを大切にし、語彙・文法の力を身に付けるために、継続的な学習を心がけましょう。</li> <li>・英語学習を通じて、世界の多様な文化や社会の事象に目を向けることができるよう、さまざまな分野の題材に触れます。</li> <li>・生徒の段階に応じた自律的な学習を支援し、自ら学びに向かう力を育成します。</li> </ul>
--

## 評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括(評定)します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</li> <li>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</li> </ul>	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や聞き手の意図を理解したり、これらを伝え合う力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価の対象	定期考査・課題確認テスト(小テスト)・授業時の活動達成状況	定期考査・パフォーマンステスト・授業時の活動達成状況	学習への参加状況・課題提出状況・振り返りシート・ルーブリックなど
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。</li> <li>・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。</li> </ul> 5 … 十分満足できると判断できるものうち特に程度の高いもの 4 … 十分満足できると判断できるもの 3 … おおむね満足できると判断できるもの 2 … 努力を要すると判断されるもの 1 … 一層努力を要すると判断されるもの		

年間学習計画

学期	単元	学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準）	定期考査
1 学期	Lesson 1 Friendships in the Digital Age	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル時代における友達付き合いに関して、写真を参考にしながらやり取りすることができる。</li> <li>質問の意図を理解し、友達付き合いについて、自分の意見を述べたり、相手からの質問に答えたりすることができる。</li> <li>全Partを通した本文を読んで、概要を把握することができる。</li> <li>デジタル時代における友達付き合いに関する英文を全Part 通して聞き、要点を理解することができる。</li> </ul>	1 学期 中間考査
	Lesson 2 Expos: Past, Present, and Future	<ul style="list-style-type: none"> <li>各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握し、その内容について質疑応答できる。</li> <li>本文の内容（万博とその開催意義）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。</li> <li>万博とその開催意義について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。</li> <li>万博とその開催意義に関する英文を全Part 通して聞き、要点を理解することができる。</li> </ul>	
	Lesson3 The Fascinating World of a Professional Storyteller	<ul style="list-style-type: none"> <li>講談に関して、写真を参考にしながらやり取りすることができる。</li> <li>各Part 本文の内容（講談と旭堂南春）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり/書いたりすることができる。</li> <li>本文の論理展開の理解を基に、講談とそれに対する旭堂南春の思いについて書かれた文章を読み取ることができる。</li> <li>講談と旭堂南春に関する英文を全Part 通して聞き、要点を理解することができる。</li> </ul>	
	Lesson 4 Changing Behavior in Unique Ways	<ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりにある仕掛けについて、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。</li> <li>本文の内容（仕掛けとソーシャルデザイン）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話す/書くことができる。</li> <li>仕掛けとソーシャルデザインについて、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握することができる。</li> <li>仕掛けとソーシャルデザインに関する英文を全Part 通して聞き、要点を理解することができる。</li> </ul>	
2 学期	Lesson 5 A Journey to Peace	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルワンダについて、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。</li> <li>各Part 本文の内容（ルワンダ内戦とマリールイズ）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり/書いたりすることができる。</li> <li>本文の論理展開の理解を基に、ルワンダ内戦と教育に対するマリールイズの考えについて書かれた文章を読み取ることができる。</li> <li>ルワンダ内戦とマリールイズに関する英文を全Part 通して聞き、要点を理解することができる。</li> </ul>	2 学期 中間考査
	Lesson 6 Humans Evolve with Measurements	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常で用いられる単位について、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。</li> <li>各Part 本文の内容（単位の歴史）について、学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり/書いたりすることができる。</li> <li>単位の歴史について、理解を深めるために、各Part本文の内容を読み取ることができる。</li> <li>単位の歴史に関する英文を全Part 通して聞き、要点を理解することができる。</li> </ul>	
	Lesson 7 Bio- logging: Discovering Animals' Secrets	<ul style="list-style-type: none"> <li>バイオロギング研究について、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。</li> <li>各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。また、本文の内容を再生できる。</li> <li>バイオロギング研究に関する英文を読み/聞き、その内容を理解することができる。</li> <li>動物保護団体の活動に関する講演を聞き、その内容を理解することができる。</li> </ul>	
	Lesson 8 What to Do with Too Many Tourists	<ul style="list-style-type: none"> <li>多すぎる観光客が引き起こす問題について、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。</li> <li>各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。また、本文の内容を再生できる。</li> <li>オーバーツーリズムの事例やその解決策について書かれた文章を読み取ることができる。</li> <li>訪日外国人増加の是非に関するパネルディスカッションを聞き、その内容を理解することができる。</li> </ul>	
3 学期	Lesson 9 Surviving in the Information Age	<ul style="list-style-type: none"> <li>広告のグラフにおける数字の見せ方に関して、写真を参考にしながらやり取りすることができる。</li> <li>各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。また、本文の内容を再生できる。</li> <li>正しい情報の見極め方についての本文の内容を読み取り、概要や要点を把握することができる。</li> <li>ファクトチェックに関する会話を聞き、その内容を理解することができる。</li> </ul>	学年末考査
	Lesson 10 The Spirit of Zen: Less Is More	<ul style="list-style-type: none"> <li>禅のイメージについて、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。</li> <li>各Partの本文の内容を読み、概要や要点を把握することができる。また、本文の内容を再生できる。</li> <li>禅の精神と世界への影響について書かれた文章を読み取り、概要や要点を把握することができる。</li> <li>マインドフルネスに関する会話を聞き、その内容を理解することができる。</li> </ul>	

# シラバス (外国語) 科

愛媛県立大洲高等学校

教科	外国語	科目	論理・表現 I	学年	1	類型	普通科
単位数	2	教科書	be Clear English Logic and Expression I	出版社	いいずな書店		
副教材	be 総合英語、be Clear Workbook						

## 学習の到達目標

- |  |
|--|
| <p>(1) 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝えあったり、やり取りを通して必要な情報を得たりするとともに、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝え合うことができる。</p> <p>(2) 日常的话题や社会的な問題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら基本的な語句や文を用いて、賛成・反対の立場から、意見や主張などを工夫して話して伝えあうことができる。</p> <p>(3) 日常的话题や社会的な問題について、複数の段落からなる文章で書いて伝えることができる。</p> |
|--|

## 授業の概要

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元で学んだ文法や語句を使って、自分の考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う力を育成します。</li> <li>・1年次には英語学習の基礎を身に付けることができるよう、予習・授業・復習のサイクルを大切に、語彙・文法の力を定着させるために、継続的な学習を心がけましょう。</li> <li>・英語学習を通じて世界の多様な言語や文化、社会の事象に目を向けることができるよう、多種多様な題材に触れます。多様な世界を知り、視野を広げていきましょう。</li> <li>・授業中は話す・書く活動を中心に、間違いを恐れず積極的に英語でコミュニケーションを図りましょう。</li> </ul> |
|--|

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>・自分の意見や主張を伝えあったり書いて伝えたりするために必要となる論理の構成や展開及び表現等を理解している。</p> <p>・外国語の語彙、文法、表現などの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p>	<p>自分の意見を、相手により良く理解してもらえるように、日常的话题や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の意見を論理の構成や展開を工夫して話して伝えあったり、書いたりする力を身に付けている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価の対象	定期考査・課題確認テスト（小テスト）・授業の参加状況	定期考査・小テスト・パフォーマンステスト・授業の参加状況	学習への参加状況・課題提出状況・振り返りシート・ループリック評価など
備考	<p>・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。</p> <p>・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。</p> <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの</p> <p>4 … 十分満足できると判断できるもの</p> <p>3 … おおむね満足できると判断できるもの</p> <p>2 … 努力を要すると判断されるもの</p> <p>1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単 元	学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準）	定期考査
1 学期	Introduction	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文の基本的な構造や品詞について理解し、自分のことを話すことができる。</li> <li>・伝えたい内容を、適切な意味をもつ動詞を用いて表現できる。</li> <li>・中学校での既習事項を理解し、人の情報を聞き出すことができる。</li> </ul>	1 学期 中間考査
	1st Zone Lesson1~5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身近な人について、現在時制を用いて紹介することができる。</li> <li>・未来を表す表現を用いて、休日の予定を表現することができる。</li> <li>・完了形を用いて、旅行や移動について話ができる。</li> <li>・学習や学校で達成したことについて話すことができる。</li> </ul>	
	2nd Zone Lesson6~9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助動詞を用いて、食文化について表現することができる。</li> <li>・助動詞を用いて、学校生活のことを表現することができる。</li> <li>・助動詞を用いて、日常における依頼の表現を話すことができる。</li> <li>・受動態を用いて感情を表すことができる。</li> </ul>	
2 学期	3rd Zone Lesson10~15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不定詞を用いて将来のことを表現することができる。</li> <li>・不定詞を用いて健康や運動について話すことができる。</li> <li>・不定詞を用いて電化製品の紹介や広告を表すことができる。</li> <li>・動名詞を用いて趣味や関心を持っていることを話すことができる。</li> <li>・分詞を用いて、自然や動植物について書くことができる。</li> <li>・分詞を用いてニュースの原稿や出来事の報告を書くことができる。</li> </ul>	2 学期 中間考査
	4th Zone Lesson16, 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞を用いて発明や偉人について紹介することができる。</li> <li>・関係副詞を用いて都市や町の魅力を伝えることができる。</li> </ul>	2 学期 期末考査
3 学期	4th Zone Lesson18~20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較表現を用いて、都市と地方を比較して伝えることができる。</li> <li>・比較表現を用いて、ソーシャルメディアの利用について意見を表現できる。</li> <li>・仮定法を用いて、今年度の反省と来年度の抱負を表現することができる。</li> </ul>	学 年 末 考 査
	1年間の復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を適切に用いながら、社会問題について語るすることができる。</li> <li>・既習事項を適切に用いながら、ディスカッションしようとする。</li> </ul>	